

貯法	室温保存、微生物の混入を防ぐことのできる気密容器
----	--------------------------

動物用医薬品

セフェム系抗生物質製剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

セファゾリンDC「KS」

(セファゾリン油性乳房注入剤)

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、セフェム系抗生物質であるセファゾリンを有効成分とする乾乳期のシリンジタイプの乳房注入抗生物質製剤です。セファゾリンはブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウムなどのグラム陽性菌や大腸菌、クレブシェラなどのグラム陰性菌に対して抗菌力を示します。

【成分及び分量】

本品1容器(4 g)中

有効成分	含量
セファゾリン	250 mg(力価)

着色剤として青色1号を25 mg含む

【効能又は効果】

有効菌種

ブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、クレブシェラ

適応症

牛：乾乳期の乳房炎

【用法及び用量】

牛：乾乳期初期に1分房当たり1容器を注入する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、過剰にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛：食用に供するために殺する前30日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤は抗生物質であるため、皮膚炎などのアレルギー症状を起こすことがある。よって取扱いに際しては、眼や皮膚に付着しないよう注意し、付着した場合は、直ちに水で洗い流すこと。

(牛に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤が乳頭や乳房の皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取るか水で洗い流すこと。

(取扱い上の注意)

- ・寒冷地では基剤がやや固くなることがあるので、体温程度に温めてから使用すること。
- ・容器の先端は清潔に取扱うこと。

【薬理学的情報】

(薬効薬理)

セファゾリンは細菌細胞壁のペプチドグリカンの架橋合成を阻害することによって、殺菌的に作用する。ペニシリナーゼに対しては安定であるが、グラム陰性菌の産生するセファロスポリナーゼによって不活化される。

【包装】

4 g (250 mg (力価)) × 20本

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL 03-3264-7559

製造販売業者(輸入元)



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-5-10

MADE IN U K

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。